

令和2年度 事務事業総点検シート(1)  
[ 令和元年度事務事業 ]

一般会計					事務事業分類	D 建設・整備事業
事務事業名	常磐浜寺線				シート番号	019-098
担当部署名	建設	局	道路	部	道路計画	課 評価責任者(課長名) 柿本

Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	6	まちの魅力向上と、賑わいと交流のまちづくりを進めます	後期実施計画の位置付け
			施策	3	利便性向上に向けた総合的な交通ネットワークの形成	有
	2	事業開始年度	令和 1 年度		終了(予定)年度	令和 9 年度
	3	根拠法令等(法令、条例、規則、要綱等)	都市計画法、道路法			
	4	関連計画	堺市都市計画道路整備プログラム、南海本線連続立体交差事業、堺市都市計画マスタープラン、堺市地域防災計画、震災に強いまちづくり基本計画、堺市緑の基本計画、堺市津波避難計画			
5	事業実施の経緯	都市計画道路常磐浜寺線は、本市の環状軸を形成する主要な幹線道路である。本事業区間は、南海本線連続立体交差事業と一体的な整備を行うことにより、道路のネットワーク機能が向上し、円滑な交通の確保、交通事故の抑制などが見込める。				

Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体(誰が実施しているのか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 本庁 <input type="checkbox"/> 各区 <input type="checkbox"/> 出先機関 <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input type="checkbox"/> その他			
	7	事業の対象(誰を、何を対象としているのか)	道路利用者、災害時における避難者・被災者			
	8	事業の目的(どのような状況にしたいのか)	本市の環状道路ネットワークの形成により、並行する南花田鳳西町線をはじめとする主要道路の慢性的な渋滞を緩和するとともに、物流の効率化や商業立地を促進するもの。また、津波避難対象地域における避難路の役割を担う路線であるため、地域の防災性向上に寄与する。			
	9	事業内容(スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	都市計画: 昭和21年5月22日 決定 事業認可: 令和元年9月19日～令和10年3月31日 事業区間: 西区浜寺諏訪森町東3丁～西区浜寺諏訪森町西4丁 事業延長: L=520m 計画幅員: W=29m 車線数: 4車線 令和元年度に、事業認可を取得。用地再取得を実施。			
10	直接実施以外の主な支出先	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他				

Ⅲ. 投入量

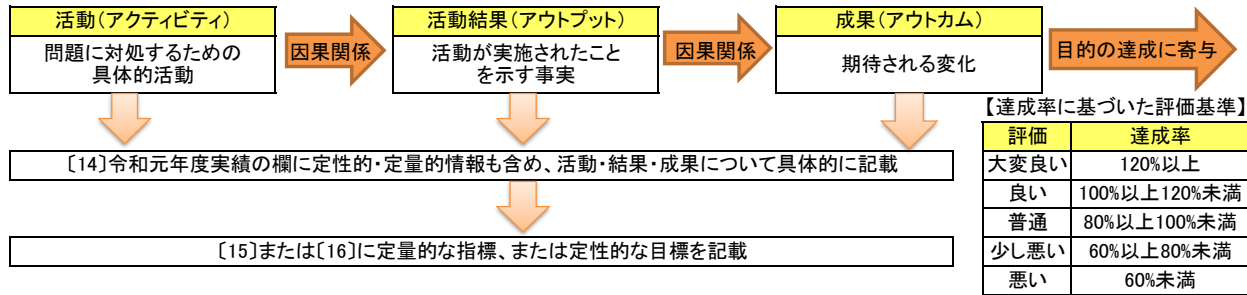
事業コスト	項目	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
			予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算	
11	事業費 (a)	千円	0	0	0	10	202,567	140,123	560,340	
	主な事業費内訳	工事費	千円					300	0	200
		委託料	千円					11,200	0	13,200
		用地費	千円					190,377	140,123	545,440
		役員費等	千円				10	690		1,500
	財源内訳	国・府支出金	千円					39,038	0	38,720
		受益者負担金(使用料、手数料等)	千円							
		市債	千円					146,000	0	518,700
		その他( )	千円							
		一般財源	千円			10	17,529	140,123	2,920	
	12	人件費 (b)	千円		0		6,012	5,435	5,435	9,145
13	総コスト(c)=(a)+(b)	千円	0	0	0	6,022	208,002	145,558	569,485	

# 令和2年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	常磐浜寺線	シート番号	019-098
-------	-------	-------	---------

## Ⅳ. 評価(測定・分析)

### ロジックモデルの考え方



[14] 令和元年度実績の欄に定性的・定量的情報も含め、活動・結果・成果について具体的に記載

[15] または [16] に定量的な指標、または定性的な目標を記載

### 事業の活動実績や成果

令和元年度実績						
活動実績と成果	14	令和元年度に事業認可を取得。 〔事業進捗〕 〔用地取得状況〕 ○用地再取得を実施。				
	15	定性的な目標				
	事業認可の取得					
		目標に対する実績	令和元年度に事業認可を取得。			
	16	指標名【活動指標】	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
		用地買収率	%			
			目標値			13
			実績値			
			達成率			
			評価			
		算出方法・設定根拠など	用地買収率＝買収面積／買収予定面積(事業用地)			

### 事業の効率性

		区分	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
17	①					
	②	上記①にかかる年間経費	千円			
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位			
	備考(算出についての説明等)					
		区分	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
18	①					
	②	上記①にかかる年間経費	千円			
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位			
	備考(算出についての説明等)					

### 業績の分析

19	目標を達成できた、または達成できなかった要因や効率性についての分析 (その他、関連情報に基づいた分析)
	○関係機関並びに地元との調整を鋭意実施し、事業認可を取得したことにより、用地再取得を実施できる状況となった。

#### 【分析のチェックポイント】

- 事業の達成度はどうでしたか。
- 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありましたか。
- 資源投入は適切でしたか。
- 事前想定できない外的要因の影響はありましたか。
- 有効性は高いですか。低いですか。
- 効率性は向上していますか。
- RPA等をはじめとするICTを活用する余地はありましたか。
- ターゲットに応じた最適媒体の選定など、戦略的な広報ができていましたか。

令和2年度 事務事業総点検シート(3)

事務事業名	常磐浜寺線	シート番号	019-098
-------	-------	-------	---------

≪V. 点検≫

＜点検の前提＞

- 新型コロナウイルス感染症の影響により、本市の財政運営は今後一層厳しくなる
- 新型コロナウイルス感染症拡大防止と社会経済活動の両立をめざす

○上記「点検の前提」を踏まえ、事業の抜本的な見直しを検討するもの。

⇒  確認

コロナ禍を踏まえた点検（必要性・有効性・効率性）	20	本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を廃止できないか。	<b>事業廃止の可能性</b> <input type="checkbox"/> 廃止できる <input checked="" type="checkbox"/> 廃止できない	<b>廃止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響</b> 都市計画道路は、都市施設として都市計画決定されている幹線道路ネットワークを形成するものである。また都市防災機能の強化や安全で快適な道路交通環境の創出を目的としているため、その整備は不可欠である。本事業は連続立体推進事業と合わせて行う必要がある。踏切に起因する交通渋滞及び事故の抜本的解消を行いつつ、市域全体の結びつきや広域的な連携を強化することで、道路ネットワークを通して市域全体の活性化を図ることができることから、事業規模の縮小は出来ない。また、本路線は事業に着手しており、都市計画道路整備プログラムにおいて引き続き事業を推進する路線の一つであるとともに、国要望においても重点的に事業を推進する最重要路線として位置付けている。	
	21	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を休止(延期)できないか。	<b>事業休止の可能性</b> <input type="checkbox"/> 休止(延期)できる <input checked="" type="checkbox"/> 休止(延期)できない	<b>休止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響</b> 都市計画道路は、都市施設として都市計画決定されている幹線道路ネットワークを形成するものである。また都市防災機能の強化や安全で快適な道路交通環境の創出を目的としているため、その整備は不可欠である。本事業は連続立体推進事業と合わせて行う必要がある。踏切に起因する交通渋滞及び事故の抜本的解消を行いつつ、市域全体の結びつきや広域的な連携を強化することで、道路ネットワークを通して市域全体の活性化を図ることができることから、事業の休止は出来ない。	<b>休止の場合の再開時期</b> <input type="checkbox"/> 令和2年度中 <input type="checkbox"/> 令和3年度 <input type="checkbox"/> 令和4年度以降
	22	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、事業規模を縮小するなど、コスト縮減を図ることができないか。	<b>コストの縮減</b> <input type="checkbox"/> 一部廃止しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 一部休止しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 規模等を縮小しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 事業手法等を改善しコスト縮減できる <input checked="" type="checkbox"/> 縮減できない	<b>縮減できる場合は具体的な縮減内容、できない場合はその理由</b> 都市計画道路は、都市施設として都市計画決定されている幹線道路ネットワークを形成するものである。また都市防災機能の強化や安全で快適な道路交通環境の創出を目的としているため、その整備は不可欠である。本事業は連続立体推進事業と合わせて行う必要がある。踏切に起因する交通渋滞及び事故の抜本的解消を行いつつ、市域全体の結びつきや広域的な連携を強化することで、道路ネットワークを通して市域全体の活性化を図ることができることから、事業規模の縮小は出来ない。また、本路線は事業に着手しており、都市計画道路整備プログラムにおいて引き続き事業を推進する路線の一つであるとともに、国要望においても重点的に事業を推進する最重要路線として位置付けている。	
	23	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 社会経済活動の維持・回復のほか、3密を避けるなどの市民や民間の活動変容への対応に向け、実施手法を改善する必要がないか。	<b>事業手法の適切性</b> <input type="checkbox"/> 改善する必要がある <input checked="" type="checkbox"/> 改善する必要がない <input type="checkbox"/> 既に対応できている	<b>改善する場合は改善策、その他は理由</b> 都市計画道路は、都市施設として都市計画決定されている幹線道路ネットワークを形成するものである。また都市防災機能の強化や安全で快適な道路交通環境の創出を目的としているため、その整備は不可欠である。	
	24	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 効果的・効率的な事業の実施に向け、右に掲げる視点から改善できないか。	<b>効果的・効率的な事業実施(以下の観点で、改善する(または改善済)場合は<input checked="" type="checkbox"/>、改善しない(改善余地がない場合を含む)場合は<input type="checkbox"/>)</b> ① <input type="checkbox"/> 公民連携の推進 ② <input type="checkbox"/> ICT活用による効率化 ③ <input checked="" type="checkbox"/> 他部署との適切な連携・役割分担 関係部署名(用地第一課、連続立体推進課) 関連事業名( ) ④ <input checked="" type="checkbox"/> 国・府等との適切な役割分担・連携 ⑤ <input checked="" type="checkbox"/> 他政令市等との比較におけるサービス水準の均衡 ⑥ <input type="checkbox"/> その他( )	<b>理由・説明</b> ③用地部と連携し、情報共有しながら、計画的かつ効率的に事業を実施している。また、鉄道の高架化に合わせて、鉄道を横断する都市計画道路を整備する方針で、連続立体推進課と随時調整し、事業を推進している。 ④財源に国交省からの交付金を充当している。 ⑤都市計画道路整備プログラムに基づき整備しており、サービス水準は同程度である。	
25	これまでの点検を踏まえ、今後の事業のあり方についてどのように考えるか。	<b>事業の方向性</b> <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止または延期 <input type="checkbox"/> 事業を縮小 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状を継続 <input type="checkbox"/> 事業を拡充 <b>公金投入の方向性</b> <input type="checkbox"/> ゼロ <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大	<b>実施年度</b> <input type="checkbox"/> 令和2年度 <input type="checkbox"/> 令和3年度 <input type="checkbox"/> 令和4年度以降		
		<b>所見</b> 土地調査を行い、効率的に用地測量等の業務を執行し、計画的に用地取得を推進する。また、鉄道の高架化に合わせて、鉄道を横断する都市計画道路を整備するため、連続立体推進課と随時調整し、事業を推進する。			